

報道参考資料



この報道資料は 9 月 1 日 (現地時間) にロサンゼルスで発表されたリリースのご参考訳文です。

ブルーレイディスク アソシエーション

2009 年 9 月 4 日

BDA が 3D 技術に関する最新情報を発表

Blu-ray Disc Association (BDA、以下 BDA) は、普及が拡大しつつある Blu-ray Disc™ (以下 BD) Format に 3D 技術を導入する計画を発表しました。優れた技術性能と大容量が特長で、現在消費者にも急速に支持を得ている BD は、消費者に臨場感あふれる 3D 体験を提供するためには理想的なフォーマットです。

BDA のグローバル・プロモーション・コミッティー・チェアを務めるビクター・マツダは次のように述べています。「BDA は、この広帯域で大容量なフォーマットを十分に活用して、現在の技術で可能な最高品質の 3D 体験を実現するつもりです。BD が次世代の高画質ホームエンターテインメントの道を切り開いたように、BD の 3D 技術は、将来、家庭用 3D として標準化されるでしょう」

大手映画会社、IT 企業、家電メーカー (CE) などから構成される BDA は、BD Platform において一貫して 3D コンテンツを提供できるよう、統一規格の策定を進めています。BDA ではいくつかの基準を検討していますが、BD の 3D 規格では、片目あたり 1080p の解像度および、ディスク、プレイヤー双方の後方互換が確保される予定です。後方互換とは、3D のディスクには既存の 2D プレイヤーでも再生可能な 2D の映像も記録しており、3D プレイヤーでは既存の 2D コンテンツによるライブラリが再生可能になることを意味します。

「消費者への BD の受け入れは着実に進んでいます。また今年の映画市場では、3D 作品が大ヒットしました。現在、3D の真の能力が見え始めつつあります。優れた技術特性を持ち、業界の幅広い支持を受けた BD は、3D ホームエンターテインメントのパッケージメディアとしてまさに理想のプラットフォームです」とウォルト・ディズニー・スタジオ・ホーム・エンターテインメント社長のボブ・チャイペック氏は述べています。

現在 BDA は、加盟各社が社内の計画サイクルやスケジュールに合わせた製品開発および発表ができるよう、必要な技術情報とガイドラインを加盟各社に提供する活動を行っています。

ブルーレイディスクについて

ブルーレイディスクは、高品位オーディオビジュアルの記録および大容量データのソフトウェア・アプリケーションのために開発された新世代光ディスクです。片面 1 層ブルーレイディスクには最大 25 ギガバイト、片面 2 層ブルーレイディスクには最大 50 ギガバイトのデータを記録することができます。

ブルーレイディスク アソシエーション (BDA)について

ブルーレイディスク アソシエーションは、ハイビジョン映画、ゲームソフト、写真、その他のデジタルコンテンツを保存可能な次世代光ディスクであるブルーレイディスクの規格プロモーションやビジネス促進を目的に活動しており、アップル、デル、ヒューレット・パッカード、日立製作所、インテル、LG 電子、三菱電機、パナソニック、パイオニア、フィリップス、サムソン電子、シャープ、ソニー、サン・マイクロシステムズ、TDK、トムソン、20 世紀フォックス、ウォルト・ディズニー、ワーナー・ブラザーズを始め、180 社以上が加盟しています。

(注) “Blu-ray(ブルーレイ)” “Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)” は、ブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先:

ブルーレイディスク アソシエーション広報事務局

(株式会社プラップ ジャパン 内)

担当: 柏木 政彦、藤沢 佳隆

電話: 03-3486-6839

e-mail: BDA@prap.co.jp

Web: <http://www.blu-raydisc.com/jp.html>